



葵流祭体育の部・文化の部の成功とは

校長 守野 和弘

葵流祭体育の部・文化の部が10月9日（土）に行われます。たとえコロナ禍であっても、こういう行事を通して得られる教育的効果は、生徒たちにとって、とても大きなものです。そして、生徒たちには思い出の1ページにしてほしいと思います。それに向けての練習が、9月13日（月）から始まっています。今は緊急事態宣言下であり、「生徒が密集する運動」、「近距離で組み合ったり接触したりする運動」、「室内で生徒が近距離で行う合唱、管楽器演奏」はリスクが高い活動となっています。キーワードは「近距離」をつくらないことです。



大縄跳び（掛け声は周囲の仲間だけ）

そこで、体育の部では当初予定していた「縦ムカデ競走」、何人かのムカデがどんどんつながっていき、最後には学級全員のムカデとなってゴールするというものはやらないことにしました。「大縄跳び」についても、学級全員で跳ぶとなると18～20人が一度に跳ぶことになり、たいへん密な状態となります。そこで、学級を前半と後半で10人ごとに間隔を開けて跳ぶようにしました。跳ぶ人は声を出しません。学級の周りの人が掛け声をかけてリズムを揃えます。「メディシンボール」も、普通は間を詰めるほど有利ですが、詰めずに前後のラインに等間隔にメンバーが並んで行うルールとしました。合唱では、当初の案では学年合唱を歌うことになっていましたが、学級ごとの合唱として、舞台に並ぶ人数を減らし、一人一人の間隔を広げます。練習も、パートごとに、CDやオルガンの周りに丸くならず、教室や廊下、外など、換気のよい条件の中で、マスクを着用し、一人一人1mは開けて、同じ方向を向いて練習をしています。本番でもマスク着用しての合唱となります。客席も間隔を開けて聴くようになります。文書でお知らせしたように、保護者の皆様にも申し訳ありませんが人数制限をかけさせていただきました。

これらの対策をしても、十分ではありません。生徒が、「新しい生活習慣」である、練習の前後での手洗い、うがい、手指消毒の徹底を図ることがすごく重要です。デルタ株は油断大敵、心の隙に忍び込んできます。「クラスターを絶対に出してはいけない。」このことを念頭に、教員や委員がその都度指導していますが、生徒一人一人がその危機感をもち、「葵流祭体育の部・文化の部」を実現させるために、当たり前のこととして取り組むようになってこそ、本当の「葵流祭体育の部・文化の部」の成功といえます。



間隔を開けてメディシンボール

葵流祭(体育の部・文化の部) 10月9日(土)開催

校長の巻頭言にもありましたが、今年度の葵流祭は、10月9日(土)に行われます。

9月18日(土)に開催を予定していた「体育の部」は、緊急事態宣言の発出により、9月中の開催を中止しました。さらに、中伊豆中学校との合同開催を計画していた10月9日(土)の「葵流祭(天城中)緑流祭(中伊豆中)文化交流の部」については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、残念ながら合同での開催を見送りました。そこで、今年度は「体育の部・文化の部」を同日開催といたしました。

また、新型コロナへの対策として、参観者数を制限し、「各世帯2名まで」とさせていただきました。本来は、多くのご家族、地域の方にご参観いただき、生徒たちの一生懸命な姿を見ていただきたいのですが、感染防止に向けての取組ですので、何卒ご理解を賜りたく存じます。



集合・整列もマスク着用、ソーシャルディスタンス

パーティションを使用した話し合い活動(コロナ対策)



1年国語での話し合い

コロナ対策のため、授業中の生徒は、同じ方向を向いて学習活動を行っております。しかし、学習内容によっては、どうしても席を近づけたり向かい合わせになったりして、話し合い活動をしなければならない場合があります。

そこで、2学期から個別のパーティションを用意し、左の写真のように席の間を開けて小集団での話し合いを行うようにしました。学校としては、授業前後の手洗い・手指消毒に加え、できる限りの対策を取っていきます。



< 10月の主な予定 > 日程が変更される場合があります。

- 9日(土) 葵流祭(体育の部・文化の部) **弁当持参**
- 11日(月) 代休日
- 18日(月) 3年：研修旅行 2年：職場体験学習(～20日まで) 1年：自然学習
※18日～20日は**弁当持参**
- 26日(火) 家庭教育学級講演会(生徒及び保護者参加)
「マインドフルネス(心を落ち着かせる呼吸法)」講師：河西 真道 氏
- 28日(木) 2年：赤十字・救急救命講習
- 29日(金) 3年：私立高校説明会(生徒及び保護者参加)